

IT 開発に於ける業務プロセスの 可視化と要件定義

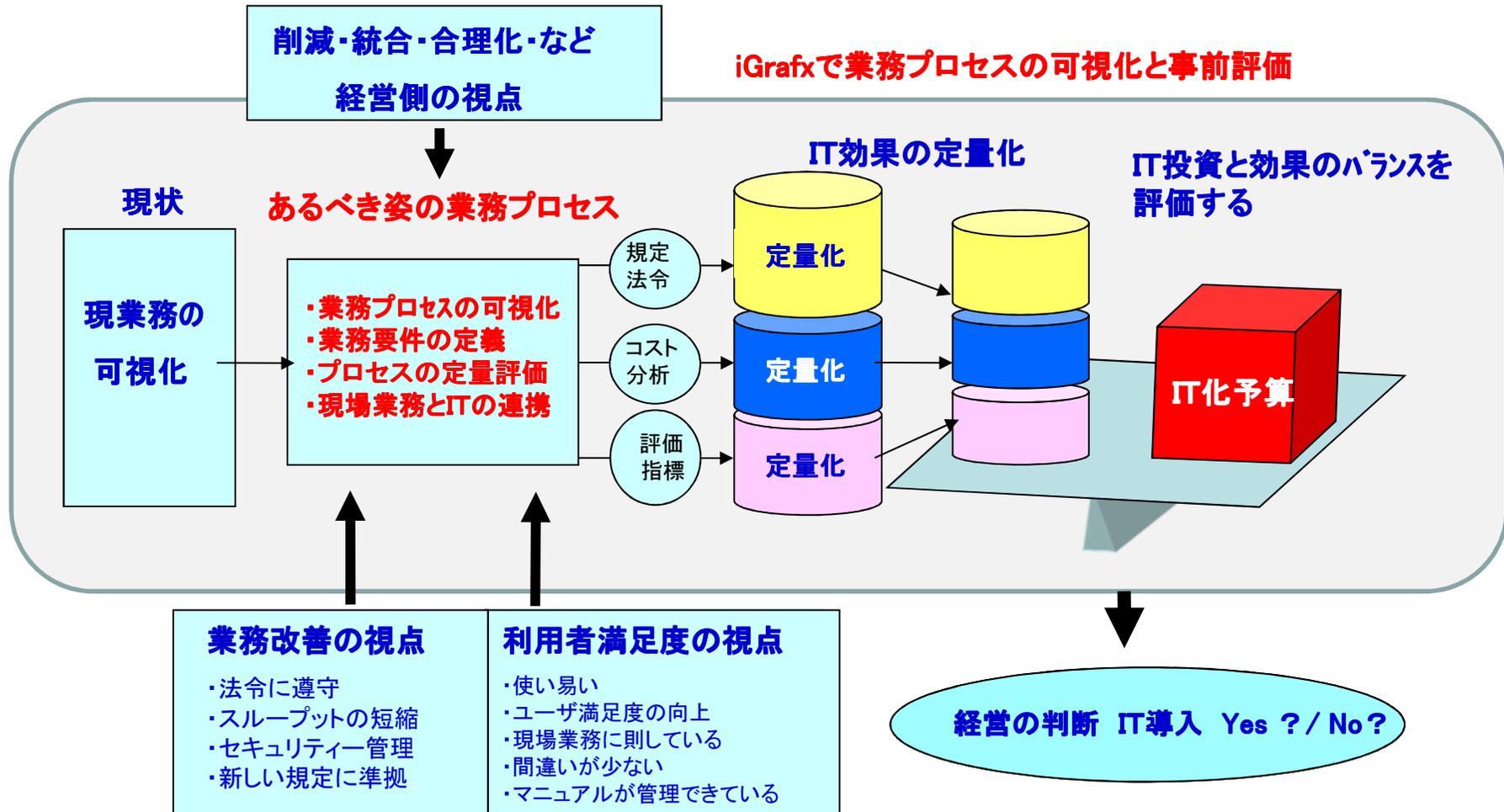
－ ITと業務の壁を取り払う －

株式会社アイグラフィックス

(1) 新しい「あるべき姿の業務プロセス」をシステム要件として定義する

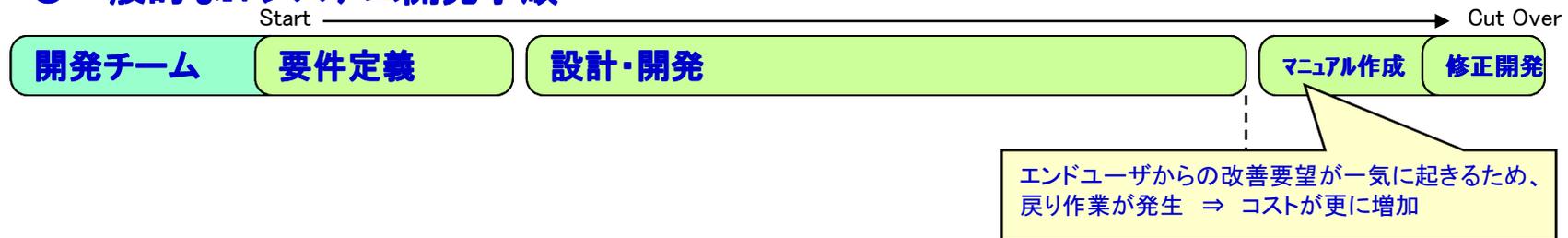
- 経営の要求を反映する
- 法令や規定に準拠する
- 手戻りの減少による、開発コストの削減
- 部門間(業務部門 / IT 部門)のスムーズな調整でそのコスト削減
- システムありきの排除と業務のニーズに則したあるべき姿のIT構築
- トレーニングコストの削減
- 新しいITシステムのパフォーマンス(実力)を事前に評価し効果を検証
- アウトソースかシステム化の可否などを数字で測定する
- 最終的な経営との合意形成を数字で図る
- 新しい業務を可視化し業務要件を定義し、その業務プロセスをメンテナンスする

(2) IT投資と効果バランスを事前評価する

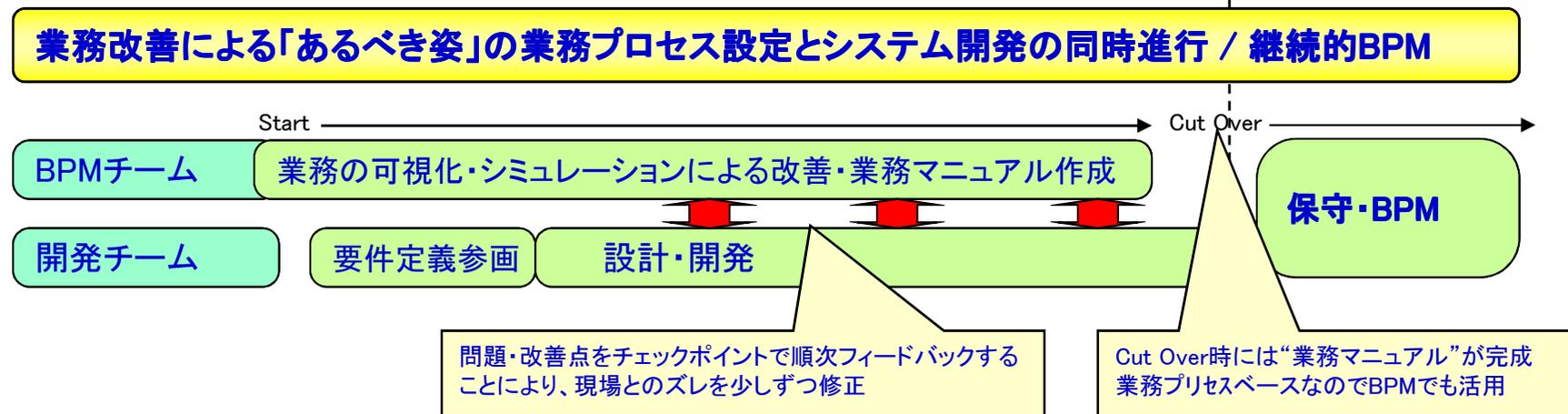


(3) 業務プロセスと改善ありきのIT開発

●一般的なITシステム開発手順

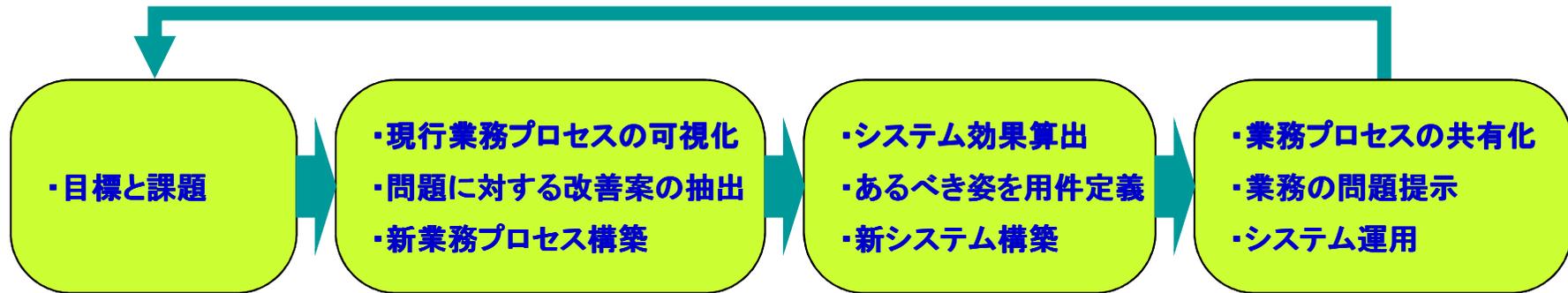


●業務プロセスと改善ありきのITシステム開発手順

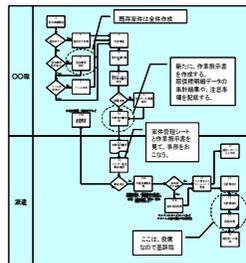


(4) 継続的なPBMとIT開発

IT開発のサイクル



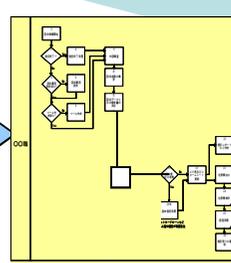
現状の業務 (AS-IS)



現場業務参画型の業務改善

- ・ヒアリング
- ・業務の可視化(見える化)
- ・問題改善案
- ・ルール化

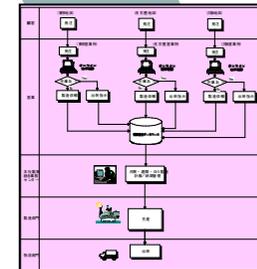
新業務の可視化



問題点の洗い出し

- ・あるべき姿と現状のギャップ
- ・経営基本方針
- ・目標設定
- ・業務改善の意識付け

あるべき業務プロセス (To-Be)



システム開発 / 運用 / 継続的BPM

- ・業務プロセスの共有
- ・問題改善案提示
- ・意見具申
- ・IT要件定義

継続的なBPM

(5) 現場業務とIT開発担当の要望

● 業務の立場から

- 業務プロセスを明確に理解できるようにしたい
- 属人的な作業を排除し標準化を行い社内的にコンプライアンスを高めたい
- 業務の改善をプロセスの視点から行き、改善のPDCAサイクルを回したい
- 現場の意図(最適な業務プロセス)に即したIT化を構築したい
- 市場のニーズに合わせて業務プロセスを変更し競争力のある儲かる会社になりたい
- 業務プロセスの変更に伴いIT構築を低コストで短期間にスムーズに行いたい
- IT技術者との情報交換をシームレスに行い相互理解を深めたい

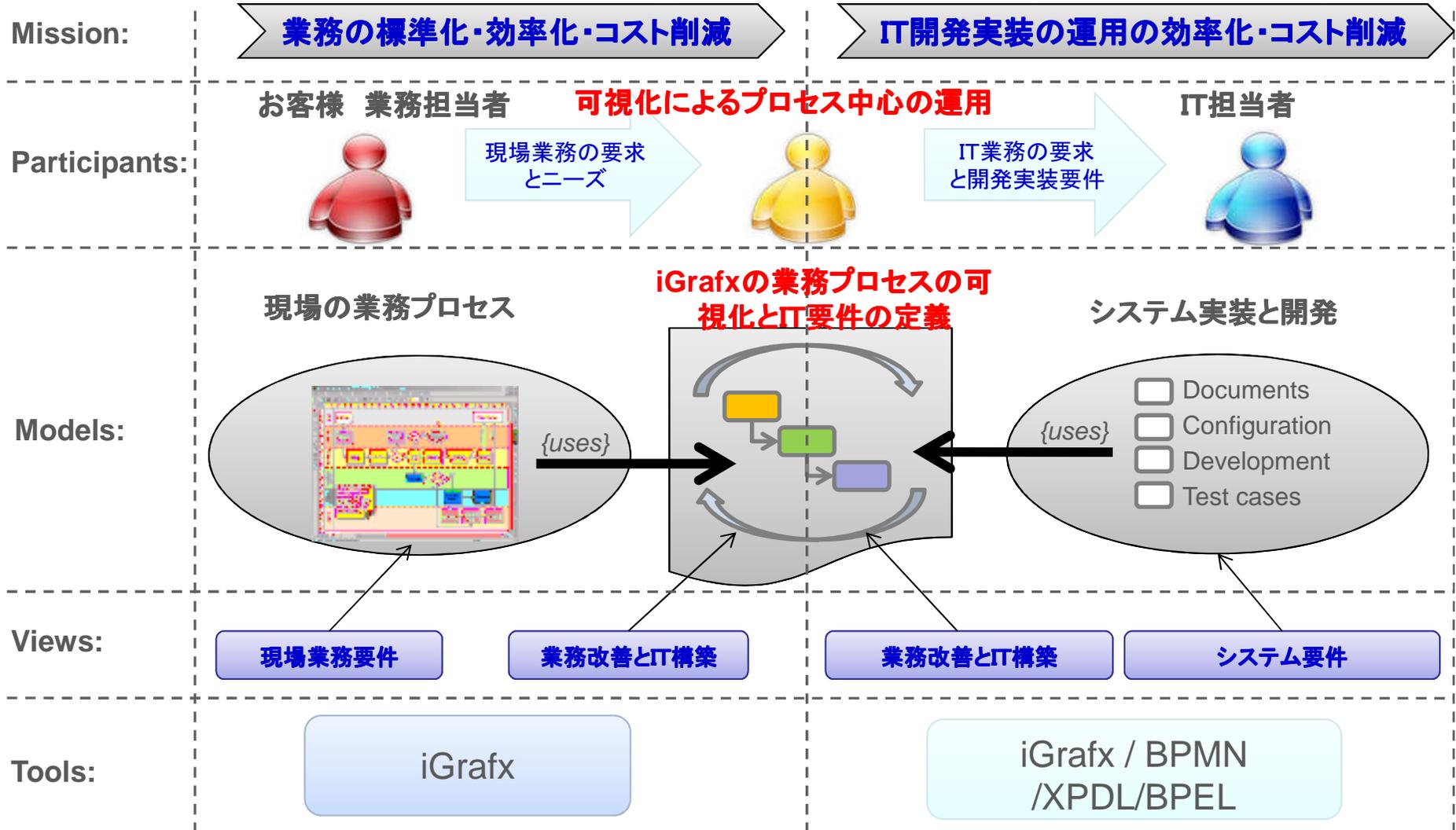
● ITの立場から

- 業務を早く正しく理解し最適な開発・保守を短期間で正確に行いたい
- 他社に負けない開発・保守サービスとノウハウの提供を行いたい
- ユーザ業務のデータを管理して継続的にITシステムの提供を行いたい
- 社内の標準化を進め統一された進め方で業務をこなしたい

(6) IT開発にiGrafXを適応するメリット

- ITシステム開発や保守業務の標準化・効率化を図りコストを削減する
- バラバラな開発・保守の進め方や方法をiGrafXを利用し標準化し効率化する
- IT開発に於ける作業品質の向上とユーザへの満足度の向上を図る
- 業務を理解し継続的な保守業務を提供する
- 業務プロセスのデータを蓄積し、業務やITに係る情報を継続的に保守メンテナンスする
- IT開発・保守業務のノウハウを蓄積し、俗人化された知識や作業を排除する
- 開発・保守業務の社内コストを削減する
- 業務とIT間で相互理解を深め後戻りや修正を少なくする

(7) BPMとIT開発の「あるべき姿」



(8) 業務プロセスの可視化

- 業務担当者、IT担当者が簡単に操作できるTOOLを準備する

The screenshot displays the iGrafX FlowCharter 2006 software interface. The main window shows a complex flowchart with various shapes, lines, and text boxes. The interface includes a menu bar, a toolbar, and a right-hand pane with a tree view. Several callout boxes with red borders and arrows point to specific features of the software.

部門・組織の挿入名前の変更は全ての図面に自動変更

スィムレーンに対して垂直にフェーズラインを追加できます

テキストは図形に紐付くので修正変更が簡単

規程書やマニュアル類をプロセス図に添付

業務プロセスの階層表現が可能

業務フローチャートを簡単スピーディに作成・変更

ページサイズを意識せずに作図が可能。ページサイズは印刷時に設定。

フローの階層構造や帳票などの添付ファイルをツリー形式で表示

接続線交差部分は自動でジャンプ表示

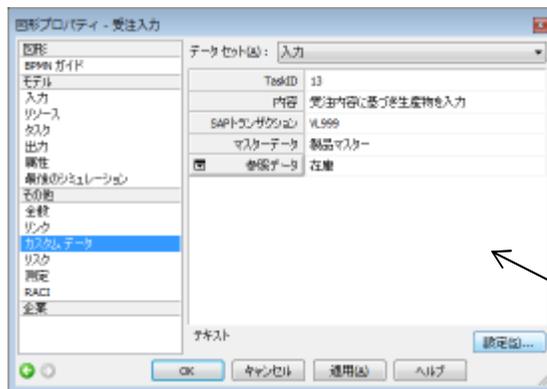
改ページ部分への自動コネクタ表示

業種別に豊富な記号や絵柄を準備業務に合わせて簡単にユーザーがカスタマイズも可能

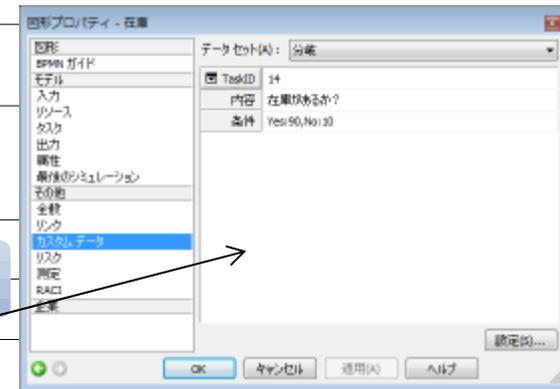
(9) 業務プロセスの可視化と業務とITの要件定義

- 可視化された業務プロセスにIT要件や業務条件などの属性データを業務プロセス上に紐付ける

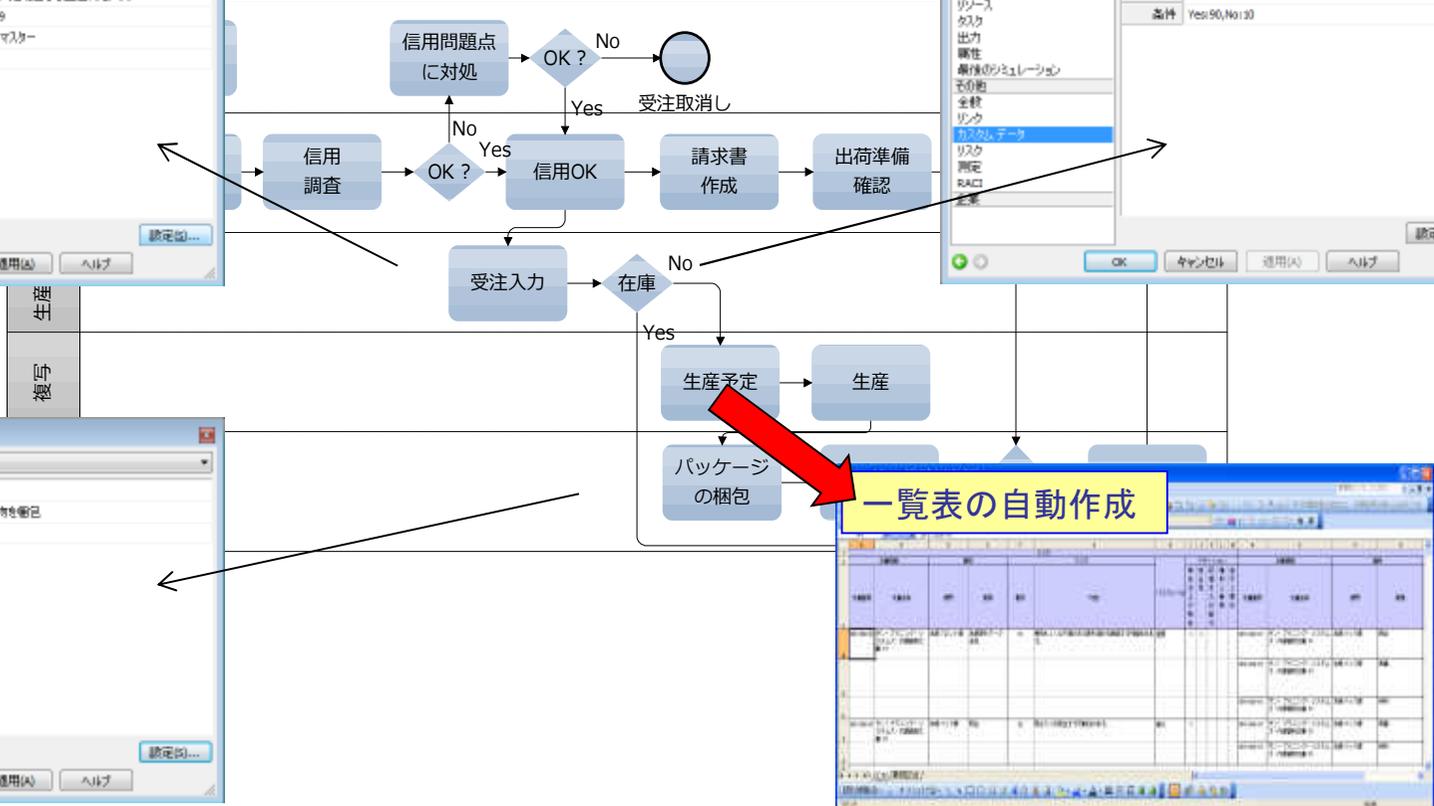
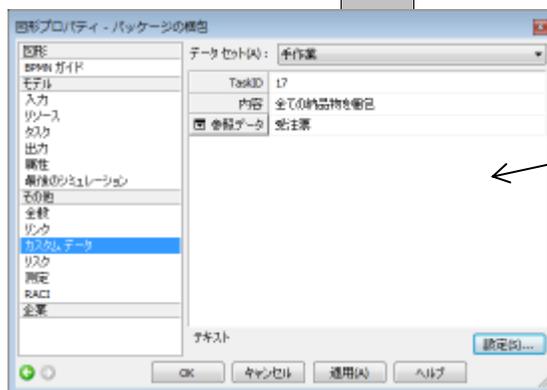
■ 業務内容 (IT)



■ 判断条件

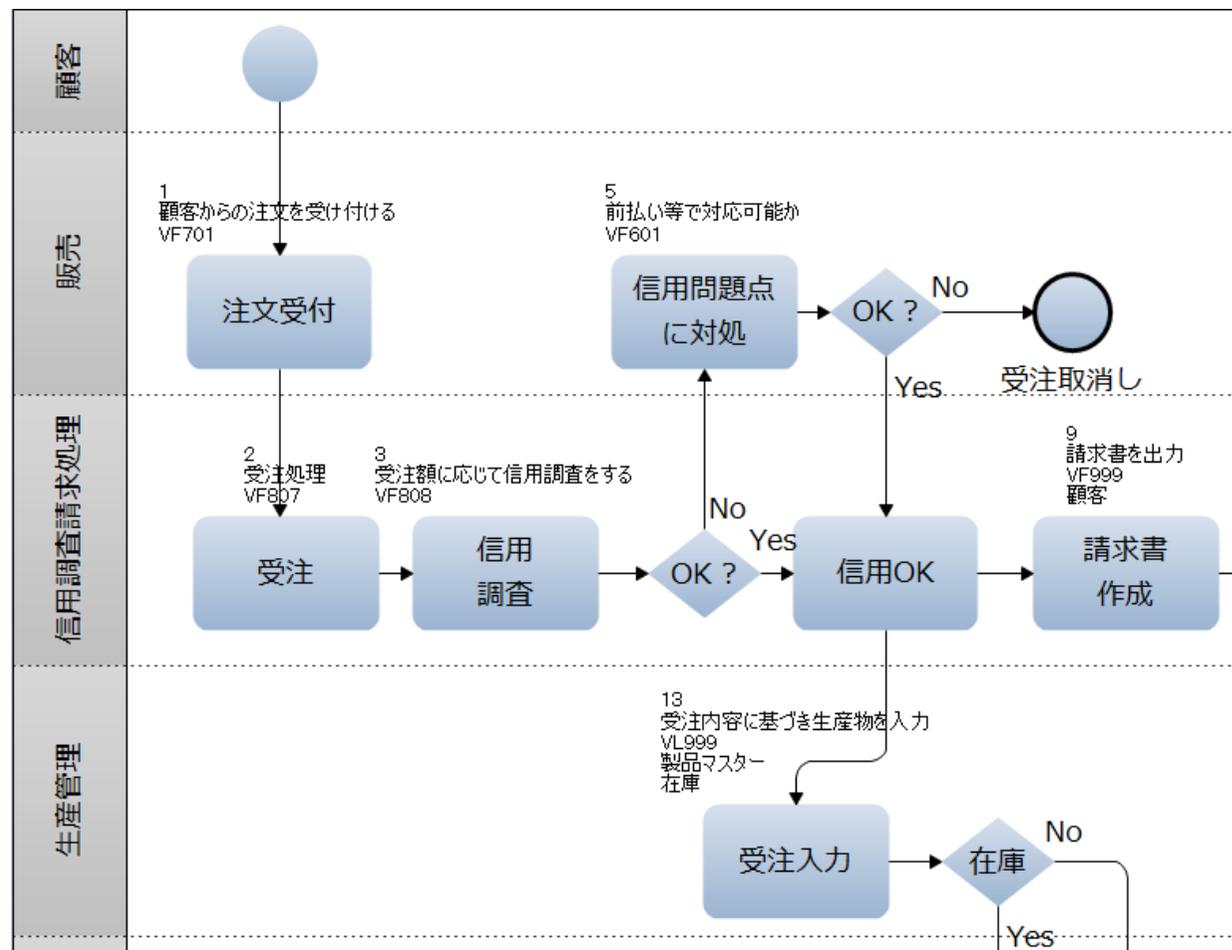


■ 業務内容 (手作業)



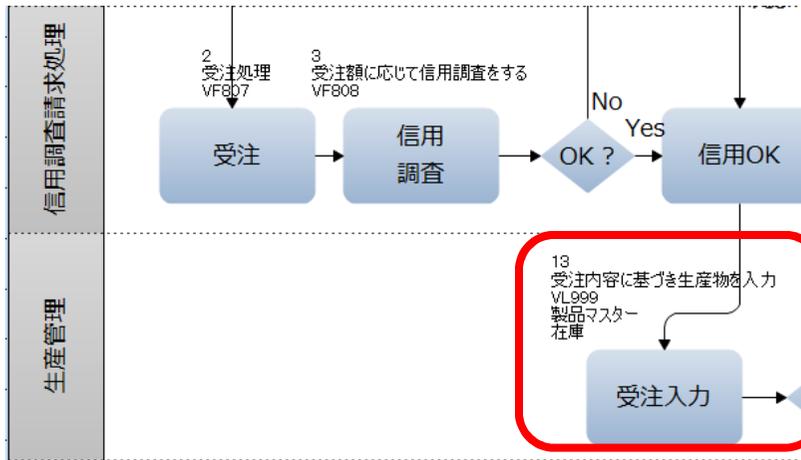
(10) 可視化された業務プロセスを社内の共通言語として活用する

- 可視化された業務プロセスにIT要件や業務条件などを見えるようにし、必要に応じてエクセルなどでデータを共有することにより互いの理解を深めメンテナンス管理を効率化する。



(11) 作業の標準化と品質の向上

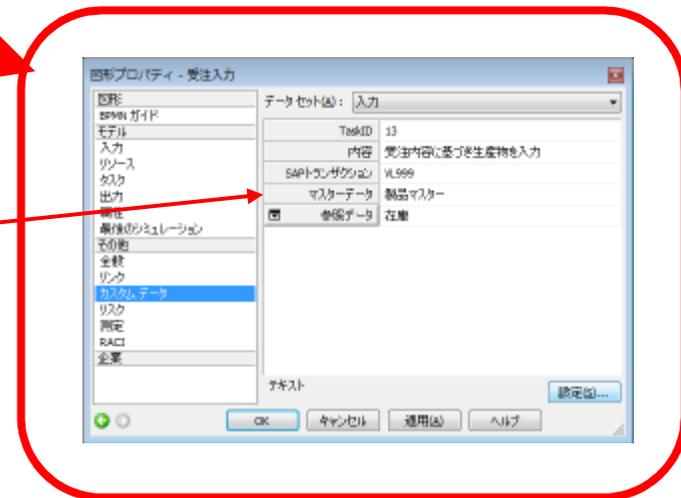
- 業務要件やIT要件を整理し標準化することで社内に知識やノウハウを蓄積し業務とIT開発の品質を向上させる。



IT要件をプロセス上に記述

- プロセス図上の業務図形にIT要件を属性として定義
- 業務とITシステムの関連性が網羅的に明確になる
- 事前にエクセルで定義したIT要件を取り込む

リストから必要項目を選択



貴社で設計した要件定義画面

詳しい説明をご希望される場合は表紙右上に記載してあります
「資料番号」を添えて下記までご連絡ください。

お問い合わせ先:

〒160-0022

東京都新宿区新宿 4-3-17 ダヴィンチ新宿ビル 6F

株式会社アイグラフィックス 担当: 若松

電話: 03-6880-1232

Email: igrafxjapan@igrafx.com